

総務教育常任委員会資料

(令和2年6月10日)

〔件名〕

・人権尊重の社会づくり相談ネットワークの運用状況について

【人権・同和対策課】・・・1

総 務 部

人権尊重の社会づくり相談ネットワークの運用状況について

令和2年6月10日

人権・同和対策課

人権問題を救済する観点から、県では平成21年から人権尊重の社会づくり相談ネットワークとして県内3カ所で相談窓口を設置しているところですが、令和元年度の運用状況を、以下のとおり報告します。（「同和問題・部落差別相談窓口」「障がい者差別解消相談支援センター」「こどもいじめ人権相談窓口」を含みます。）

1 相談件数・・・340件（対前年度比81.1%：前年度419件）（詳細は参考のとおり）

相談件数（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

① 受付機関別

	R1	H30
人権局	97	151
中部振興局	56	48
西部振興局	187	220
計	340	419

② 相談形態別

	R1	H30
面接	114	125
電話	212	271
封書等	14	23
計	340	419

2 専門相談員の相談事例

専門相談員が行った相談事例はありません。（前年度 事例なし）

3 こどもいじめ人権相談

いじめが全国的に問題になっていることを受け、平成24年9月21日に人権局に「こどもいじめ人権相談窓口」を開設し、子どものいじめに係る相談に対応しています。

(1) 設置箇所：県庁人権局

(2) 電話相談：24時間対応、メール相談：24時間受付（独立した電話回線、メールアドレスで運用）

(3) 相談件数：31件（前年度46件 人権相談件数の内数）

(4) 対応事例

① 相談内容の傾聴に努め、学校との話し合いの場を持ち、不登校改善に向けて調整を図った。

② 学校、教育委員会、相談者の話し合いの場に同席し、相談者に寄り添い支援を行った。

相談事例及び相談内容

1 主な相談事例

支援類型	具体例	
	相談分野	対応状況
① 整理・関係機関への伝達 〔相談内容を整理してまとめ、関係機関へ伝達して解決を促進〕	子ども	夜間、コンビニエンスストアから子どもが駆け込んできたとの連絡があり、本人は「家でずっと嫌なことがあり、積もり積もって死ぬつもりで家を飛び出した」と申述。コンビニエンスストアに待機スペースの確保を依頼するとともに、児童相談所へ連絡し対応を依頼した。
	子ども	LGBTを自認する子どもの母親から、来春進学する中学校の制服について、不登校が心配なので体操服で通学させたいとの相談があった。県教育委員会に伝え、安心して通学できるよう市町村教育委員会等との協議を依頼した。
	障がい者	団体の会議に参加した際、参加者の中に言葉使いの悪い者がおり、何度注意してもやめず、モラルハラスメントに大変不愉快な思いをしたとの相談があった。県関係課に伝え、研修や啓発の実施を依頼した。
② 第三者として当事者に伝達 〔相談内容を第三者の立場で冷静に伝達し、解決を促進〕	疾病	過去に精神科に入院した頃から要注意人物として扱われていることなどの相談があった際、身体にアザが目立ち、服装・身だしなみが不衛生状態であったことから、地域包括支援センターに状況把握と対応を依頼した。
③ ケース会議開催など関係機関と緊密に連携した支援 〔関係機関職員等と対応策を検討しながら解決を促進〕	労働者	人事異動による新たな部署でパワーハラスメントにあい、苦手な職員もいたことから病気休暇に入ったとの相談があった。相談者からの依頼もあり数回にわたる労働関係機関との相談や紛争あっせんの場合に中立な立場で同席するなど関わりながら、元の部署に復帰することができた。
④ 必要な情報の提供 〔問題を整理し、解決のために必要な情報等を提供〕	労働者	工事現場の足場が崩れ怪我を負い、労災を主張したが責任者には対応してもらえず、職場を辞めさせられたとの相談に対し、労災の仕組みを説明するとともに、労働基準監督署に相談するよう紹介した。
	労働者	以前勤めていた職場でパワーハラスメントにあい、精神疾患にもなりいまだにストレスがあるとの相談に対し、既に退職され別の職場に問題なく勤務されていることを確認のうえ、労働局の総合相談センターに相談するよう紹介した。

2 人権相談窓口における相談の状況について

(1) 相談件数（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

① 受付機関別

	R1	H30
人権局	97	151
中部振興局	56	48
西部振興局	187	220
計	340	419

②相談形態別

	R1	H30
面接	114	125
電話	212	271
封書等	14	23
計	340	419

(2) 相談内容

① 分野別

	同和 問題	外国人	障がい	障がい細分（複数計上）					子ども	女性
				身体	知的	精神	発達	不明		
R1	4	0	119	11	13	91	14	0	58	11
H30	2	2	179	19	14	142	11	0	61	27

	高齢者	労働者	疾病	その他	計
R1	36	94	103	75	500
H30	53	83	92	119	618

※相談内容により複数の分野に計上

②行為類型別

	差別 表現	落書 き	インタ ーネッ ト	就労		虐待					サー ビス 提供	就学
				(募集 採用)	(左 以外)	(身 体的)	(心 理的)	(性 的)	(経 済的)	(初 心)		
R1	3	0	2	12	87	6	23	1	21	3	82	27
H30	6	0	3	22	76	8	20	1	12	2	101	19

	アライ バン	居住・生 活の安全	報道 被害	誹謗 中傷	嫌が らせ	いじ め	セク ハラ	性 暴力	結婚 差別	賃貸 拒否	その 他	計
R1	12	120	0	17	101	26	7	1	0	0	98	649
H30	10	162	2	14	150	32	3	2	0	0	119	764

※相談内容により複数の行為類型に計上

(3) 相談窓 口の対 応状況	情報提 供・助言	他機関（県 の機 関）紹介	他機関（県以 外）紹介	その他 （傾聴など）	計
R1	321	4	2	13	340
H30	353	5	3	58	419

(参考) 相談件数の推移



